

当所における低圧タービン動翼取付部の点検について

[概要]

他社の原子力発電所において、低圧タービンの動翼取付部にき裂が確認され、現在、原因調査が進められております。

この度の事例を踏まえて、タービンの健全性を確認するという観点から、念のため当所1号機においても、今回の停止中に自主的な点検を実施してまいります。

[点検期間]

平成25年4月上旬～平成25年6月末（予定）

[点検方法]

動翼を車軸に取付けた状態で、動翼取付部について超音波探傷検査（UT）*を行います。

* 超音波探傷検査（UT）

材料の欠陥を検出するための非破壊検査の一つで、検査対象物に超音波を入射し、その反射を利用してひびの判定やひびの深さを測定する検査。

